

平成23年行政事業レビューシート (警察庁)									
事業名	組織犯罪対策		担当部署	刑事局組織犯罪対策部			作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	-		担当課室	企画分析課			企画分析課長 鶴谷 明恵		
会計区分	一般会計		施策名	3 組織犯罪対策の強化					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度以内)	暴力団、薬物・銃器犯罪組織、来日外国人犯罪組織等による組織犯罪の深刻化が、我が国の治安悪化の要因となっていることに鑑み、これら犯罪組織の実態を的確に把握し、所要の対策を講じ、効果的な打撃を与えることにより、犯罪組織の弱体化及び壊滅を図り、もって市民生活の安全と平穏を確保する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	警察庁において、海外連絡担当官の事務所借上げや、薬物対策用資料等の作成等を行っている。								
実施方法	■ 直接実施 ■ 業務委託等 □ 補助 □ 貸付 □ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		補正予算	8	0	6	0			
		繰越し等	0	0	0	0			
		計	210	93	67	70	53		
		執行額	148	64	47				
	執行率(%)	70%	69%	70%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	(成果目標) 犯罪組織の弱体化及び壊滅 (参考指標) 検挙件数及び検挙人員		成果実績		別紙のとおり				
			達成度	%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	(参考指標) 検挙件数及び検挙人員		活動実績 (当初見込み)		別紙のとおり				
単位当たりコスト	47,437千円 / 年		算出根拠	年間執行額					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	物品購入等	9	9	新たな事業の立ち上げにより役務・委託等の予算が増額となった一方、海外連絡担当官の事務所等借上のような既存事業について、直近の実績単価を概算要求に反映させたことで、借上料が減額となっている。					
	役務・委託等	22	9						
	借上料	39	35						
計	70	53							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 本事業は、警察庁が直接契約を行っていることから、支出内容については把握している。		
	2 見直しの余地 本事業は、組織犯罪対策を効果的に推進していく上で必要不可欠なものであり、引き続き実施していく必要がある。契約に際しては、一般競争入札を実施するなどして競争性を高め、支出の無駄を徹底して排除していくとともに、予算要求においては、過去の調達実績額の反映や、より競争性を高める仕様への見直しを図るなど、引き続き予算の適正な執行に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	1	支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。	
	2	改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。	
	3	レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
特になし			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
特になし			

警察庁
47百万円

＜物品購入等＞
【一般競争入札等・
随意契約(少額)】

A.民間会社
(12者)
9百万円

薬物の再乱用を防
止するためのパン
フレット等を納入

＜役務・委託等＞
【指名競争入札等・
随意契約(少額)】

B.民間会社
(13者)
8百万円

翻訳業務、各種回
線等の役務を提供

＜借上料＞
【指名競争入札・
随意契約(少額)】

C.民間会社
(14者)
30百万円

海外連絡担当官の
事務所等を提供

＜諸謝金＞

D.個人
(8名)
0.1百万円

行政対象暴力対策
関係省庁等研修等
において、講師等に
対して謝金を支出

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)(単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方で
 実情が分かる
 ように記載)

A.(株)静和堂			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本費	薬物対策用資料の作成	2			
計		2	計		
B.(株)サイマルビジネスコミュニケーションズ			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
役務費	翻訳業務	4			
計		4	計		
C.(株)ジェイ・ビー旅行			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
借上費	海外連絡担当官の事務所等借上	8			
借上費	海外連絡担当官の車両等借上	4			
計		12	計		
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)静和堂	薬物対策用資料の作成	2	随意契約	
2	ヨシダ印刷(株)	年次報告書の作成	2	随意契約	
3	(株)インフォマティクス	情報分析ソフトウェアの購入	2	2	
4	(株)徳河	ノート型PC等の購入	1	随意契約	
5	(株)ケルク電子システム	暴力団事務所監視カメラシステムの購入	1	随意契約	
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)サイマルビジネスコミュニケーションズ	翻訳業務	4	2	
2	(株)ジェイ・ビー旅行	海外逃亡被疑者の移送費用	1	随意契約	
3	(株)日本レクリエーションセンター	銃器犯罪根絶の集い運営業務	1	随意契約	
4	(財)民事法務協会	登記情報提供サービス使用料	1	随意契約	
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ジェイ・ビー旅行	海外連絡担当官の事務所等借上	12	3	
2	近畿日本ツーリスト(株)	海外連絡担当官の事務所等借上	12	3	
3	(株)JTB法人東京	海外連絡担当官の事務所等借上	5	2	
4	明治記念館	全国暴力追放運動中央大会会場借上	1	随意契約	
5					
6					
7					
8					
9					
10					

別紙

	単位	20年度	21年度	22年度
暴力団構成員等の検挙人員	人	25,809	26,763	25,496
薬物事犯の検挙人員	人	13,855	15,312	14,087
拳銃及び拳銃部品に係る銃刀法違反事件検挙人員	人	220	190	167
来日外国人犯罪の検挙人員	人	13,594	13,123	11,386
疑わしい取引に関する情報を端緒として検挙した事件数	件	175	337	390

平成22年度は暫定値である